



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「まちづくり幻想—地方再生はなぜこれほど失敗するのか—」著: 木下 斉



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



題名からドキッとしませんか。

本書では、地方創生が推奨される中、各施策に予算が投入されているにもかかわらず、うまくいかない原因(=まちづくりにおける様々な幻想)が指摘されています。幻想は、誤った意思決定や集団圧力を引き起こし、地域を成功から遠ざけます。

例えば、行政側は、予算を確保すること、事業を発注(外注)することが仕事ではありません。外注主義は、判断能力が低下し、その地域に合っていない施策が推進され、結果的に地域を衰退させていきます。まずは、自分たちで考えるスキルを身につける「外注依存デトックス計画」が必要とされています。

また、地域との関わりについては、人口減少を理由に、「地域が衰退しているのだから、何をしても失敗する」という幻想を共有してしまい、成功者や地域で活動を始めようとする人を潰してしまう可能性があるという点です。集団で持つ幻想を捨て、自らの動きで想いを口に出し、応援していくという姿勢が必要とされています。

このほかにもたくさんの幻想が指摘されており、その光景が思い浮かんでしまうことがあります。読んでいてドキッとすることになっています。何かに挑戦する時に背中を押してくれる一冊だと思います。ぜひ、ご一読ください。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

渋川市地域おこし協力隊員 長沼 未希



長沼 未希さん



私の誇る渋川の景色

渋川市地域おこし協力隊として、令和元年度から観光振興・情報発信の分野で活動をしています。活動を始めて半年でコロナ禍という状況に陥ってしまったことで、より地域に目を向け、「地元の人が地元を誇ってもらおう」ことを目標に人との繋がりを大切に活動してきました。最近ではこの繋がりが一気に芽吹き、地域の人と協力して地域活性化イベントを立ち上げました。地域の歴史を深掘りし発信することで地元への興味を促進させつつ、誰もが主役になり活躍できる、そんな環境づくりをスタートさせました。今後はこういった環境づくりを積極的に行い、渋川に関わる人を増やしていきたいと思っています。

まちづくりは人づくりから始まります。観光振興や情報発信をしてまちづくりをしようとして一人で声をあげても出来ることは限られています。私は自分の住む地域を大切に思う地元の人たちがいて、そこにもっとこのまちで楽しく暮らそうと思っている人たちがいて、そういう人たちと協力してから初めてまちづくりが始まっていくのだと思っています。今後も渋川の人と一緒に誰もが主役になれるまちづくりを目指していきたいです。

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流を終えて

飯塚 至剛(渋川市→群馬県県土整備部都市計画課都市計画係)

渋川市から人事交流職員として都市計画係で一年間お世話になりました飯塚です。当初は新しい環境と初めて経験する業務に不安だらけの日々でしたが、県職員の皆様のとて暖かく丁寧な指導のおかげでとても有意義に楽しく研修期間を過ごすことができました。

県都市計画課での業務を通して、他市町村の課題や取組、個性などを知ることができ、大変勉強になりました。県内の現場に行ける機会もあり、今までにない経験を得ることもできました。また、派遣元についても、外から見てみると新たに気づくことも多々あり、県ならではの広域的な観点での業務への取組などは、今後、自身の仕事へ活かしていけるようにしたいと思います。

はじめは一年間という期間を長いと思いましたが、毎日充実した日々だったため、気がつけばあっという間でした。今回関わることでできた県都市計画課の皆様をはじめ、各市町村の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

大隅 寛修(みどり市→群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室企画推進係)

令和2年度より2年間、みどり市から人事交流職員として派遣されました。

当初は、経験したことのない仕事や環境での業務だったので、不安なこともありましたが、県都市計画課の皆様の暖かいご指導のおかげで無事派遣期間を終えることができ、非常に勉強になる2年間でした。唯一の心残りは、時間外の交流会を実施できなかったことです…

派遣元と比較すると、県内外の事例や情報が入ってきやすく、政策の立案・検討等を行いやすい環境である一方で、県内の広範囲を見るために、より深い知識や広域的な観点が求められることから、実際に業務を通じてその難しさを感じました。

令和4年4月からは派遣元へと戻り、引き続きまちづくりに携わりながら、この2年間でできた人とのつながりや学んだことを活かせるよう精一杯頑張りたいと思いますが、最初のうちは、2年もの間、県の環境で過ごしていたので、今度は派遣元の環境に慣れるためのリハビリ生活になるかな…と思います。これまで関わってきた県都市計画課の皆様をはじめ、各市町村の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

